

【2025年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
障害者・障害児心理学			選択	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
前川 真奈美		B304	manami.maekawa	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要		<p><目的>身体障害・知的障害・精神障害の概要やメカニズム、各障害に特有の心理・行動特性を学び、それらの知識をもとに適切な支援について理解することを目的とする。</p> <p><概要>各障害について理解するために、まずは障害に関する定義や法制度などの基礎知識を概説する。そのうえで、障害者・障害児の心理社会的課題とその支援のあり方について、疑似体験やワークを取り入れながら理解を深める。</p>				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言		オフィスアワーの他、講義中やリアクションペーパーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。				
教科書		教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書		障害者・障害児心理学(公認心理師スタンダードテキストシリーズ13)/監:下山晴彦、佐藤隆夫、本郷一夫/編著:本郷一夫、大伴潔/ミネルヴァ書房/2022年				
外部教材		なし				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	身体障害・知的障害・精神障害の基本的な概念を理解し、体系的に説明できる。				HC (5)	
②	障害者・障害児の心理社会的課題および求められる支援を理解し、体系的に説明できる。				HC (5)	
③	①②をもとに、共生社会の実現に向けて自分の考えを具体的に述べるができる。				HC (1) (2) (3)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション 障害者・障害児心理学の領域で扱う内容について理解する。	講義・GW	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。			2
2	障害のとらえ方、障害者(児)を巡る動向について学ぶ。	講義・GW				4
3	身体障害 1:視覚障害・聴覚障害の概要、心理・行動特性について学ぶ。	講義・GW				4
4	身体障害 2:視覚障害・聴覚障害の心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW				4
5	知的障害 1:知的障害の概要、アセスメントの方法について学ぶ。	講義・GW	<予習> 「学習内容等」欄に書かれたキーワードについてインターネット等で調べる。			4
6	知的障害 2:知的障害の心理・行動特性について学ぶ。	講義・GW				4
7	知的障害 3:知的障害の心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW				4
8	発達障害 1:発達障害の概要、アセスメントの方法について学ぶ。	講義・GW				4
9	発達障害 2:ADHDの心理・行動特性、心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW	<復習> 配布資料をもとに講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。 確認問題を解き、理解度を確認する。そのうえで知識の定着を意識して復習を行う。			4
10	発達障害 3:ASDの心理・行動特性、心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW				4
11	発達障害 4:SLDの心理・行動特性、心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW				4
12	精神障害:うつ病の概要、心理・行動特性、医療・心理社会的支援について学ぶ。	講義・GW				4
13	障害の理解・受けとめと家族支援について学ぶ。	講義・GW				4
14	障害と教育、社会参加(働くこと)について学ぶ。	講義・GW				4
15	これまでの学習の総括を行う。	講義	講義内容を整理し、リアクションペーパーを提出する。			6
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照。					

【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		70	0	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	45	0	0	0	5	50
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	5	0	0	0	5	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	5	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	講義内容の理解度について、学期末に定期試験を実施し評価する。定期試験では、専門用語について問う選択問題と、講義で扱った知識をもとに自らの考えをまとめる論述問題を出题する。(70点満点)				Teams を利用して、総評や個別のフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎講義後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する気づき、考察、疑問などが具体的に記述されるかを評価する。(全 15 回、各 2 点満点で計 30 点満点)				講義中にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、2年の心理査定業務の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 公認心理師の国家資格取得希望者は必ず履修すること。 第 2～14 回の講義後に、講義内容の理解度を測る確認問題を実施する。意欲的に取り組み、知識の定着に役立ててほしい。 自らの考えを記述する課題（リアクションペーパー、筆記試験の論述問題等）において、生成 AI の出力結果を利用することを禁止する。これに反した場合は評価の対象外とする。 						